



学校図書館だより

平間小学校 館長 石井芳宏 No.23 6月

電子図書導入

暑かった5月が終わり、6月7日から関東も梅雨に入りました。

昨年度末に手続きが完了し、朝読書の時間と雨の日のリフレッシュタイムに電子図書を読むことができるようになりました。先月の図書委員会で利用方法の確認を行い、ログインの難しい友達へのサポート体制も整いました。電子図書には、読み放題パックの他、動いたり、音が出たりする本もあります。しおり機能も使え、返し忘れることもないので安心して楽しんでほしいです。

もちろん、紙の新刊図書も入りましたので、図書館にも足を運んでくださいね。

赤い文字の誘惑?!

最近は原油の高騰という理由で多くの商品の値上げが続いていますね。主婦としてはせめてもとチラシの「お買い得」の赤い文字や、「お徳用」との表記が目ざとくなってしまうがちです。

アレ? 「得」? 「徳」?!

どっちが「おとく」なのでしょう? どちらも得するわけですから「得」が正解と考えたいところですが、室町時代には得を「徳」と書いていたそうです。

「損徳」・「納徳」との用例が使われていたという記録があります。「徳」は「得ることができる、すばらしいもの」であることから「得」の意味でも使われたのですね。

「得」と「徳」、どちらも正解でした。

参考：朝日新聞朝刊2025. 12. 20

紙の教科書は…

「教科書」には子ども達の知らないことがたくさん書いてあります。だからこそ興味をもってしっかり学習してほしいですね。

例えば、社会科の教科書の内容を、地図や年表などの資料を使って調べることで、点と点だった知識が線のようにつながり、より深い知識として記憶されていきます。また、わからない言葉や不確かな記憶の言葉を国語辞典などで調べることでさらに補強されていきより理解を深めていくことができるそうです。

まずは、教科書の見開き2ページを音読してみましょう。それだけで、学習への期待が高まる子もいるでしょう。その上、習慣にするなら正確に読めるようになるだけでなく読解力も身につくことでしょう。お子さんと一緒に音読を楽しんでみてください!

参考：朝日新聞朝刊2026. 5. 20

文責：学校司書 南部ひとみ